

<<<やましろ街道物見遊山・外伝（仮）／呼び掛け>>>

# 【やましろ街道物見遊山・外伝（仮）】

「合志会社・にしき川流域地図創造舎／未知を遊ぶ！やましろフュージョンの提案！」



合志会社・にしき川流域地図創造舎  
〒740-0044 岩国市通津 1951-10 いわくに研究会内  
TEL/090-5573-9372  
FAX/03-6368-4661  
E-mail/nqa50755@nifty.com  
<http://www.bike-joy.com/ICD.htm>

## 【山代街道物見遊山外伝（仮）】

「合志会社・にしき川流域地図創造舎／未知を遊ぶ！やましろフュージョンの提案！」

…地域ブランド磨き後方支援企画へのご協力をお願い…

\* \* の候、皆様には益々ご活躍のことと拝察申し上げます。

昨年秋に実施した「毛利チャレンジ2018」は、「転遊研」と「いわくに研究会」の共通項である「ゲーム旅/THT26」の集大成と言えます。

また「いわくに研究会」では、「MTBツアーズ」や「かるたドライブ」を通じ、やましろエリアとの関係性を深め、「やましろ羅漢スターリッジトレイル」の提案をする中、「らんかんMTB/パーク構想」が昨年秋に急浮上しました。

それらを具現化するため、「羅漢高原MTB企画」、「里の駅ネットワーク立体企画」、「市民の足を確保するサイクリング特区」を三本柱とする「岩国市への提言」を、今年2月、毛利チャレンジ総括に併せて関係者の皆様に郵送しました。

その三本柱のひとつを「Go羅漢ハイランドギャザリング」として平成令和の超大型連休に企画しましたが、サイクル県やまぐちとの連携不足や、懸案事項の停滞、やましろエリアの時間距離の壁などが重なり、不発に終わりました。しかし、10日間で84名の有料利用者があり、次に繋がるヒントがあったのも事実でした。

そのヒントから「週末&月イチ企画」をベースにした新たな展開を模索しつつ、懸案として停滞していた「山口むしの会」との意見交換を何とか実現し、それは良い方向に向かっており、それを受け「オレンジトロフィー羅漢大会」も9月7日8日に実施しました。そしてそれらから更なるヒントが得られ、守備範囲の見直しをした上で、【山代街道物見遊山外伝（仮）】を進めたいと考えます。

「守備範囲の見直し」とは活動指針のマイナーチェンジのことで、「更なるヒント」とは「MTB企画が地域を救う！」を再認識したことで、日本の自転車走行環境の実情を少しでも変えられるよう、やましろエリアでの自転車の利活用（電動アシスト自転車の可能性）を軸に、様々な融合の提案をしたいと考えています。

「転遊研」と「いわくに研究会」の共通項、「ゲーム旅/THT26」で見つけた様々な関係者を結びつける「わらしべ効果」は、「今」の自転車ブームでも証明されているように、「自転車」の潜在能力と思われます。つまり「道」を触媒に、様々な可能性を融合させる「自転車共通言語」が存在すると思われます。

そして「里山資本主義」や「六次産業化」の後方支援的地域ブランド磨きに直結する「新わらしべ企画」の必要十分条件を考える「合志会社・にしき川流域地図創造舎（仮）」へのご理解ご協力の呼び掛けをお送りした次第です。その解説等は別紙になりますが、何卒ご高配の程、宜しくお願い申し上げます。

2019年\*月\*日  
いわくに研究会・代表／中野 敏  
同・企画担当／石丸英明  
〒740-0044 岩国市通津1951-10  
TEL/090-5573-9372 FAX/03-6368-4661  
E-mail/nqa50755@nifty.com

[/YamashiroFusion0.jpg](#)

[/YamashiroFusion0.pdf](#)

リンク設定付きテキスト ⇒ <http://www.bike-joy.com/YamashiroFusion.htm>

“転遊研”と“いわくに研究会”の共通項、「ゲーム旅/THT26」で見つけた『わらしべ効果』は、「今」の自転車ブームでも様々な応用力を発揮し証明されているように、「自転車」の持つ普遍的な潜在能力であり、『道』を触媒に、様々な可能性を融合させる「物見遊山的自転車共通言語」が存在すると思われます。そして「里山資本主義」や「六次産業化」の後方支援的地域ブランド磨きに直結する『新わらしべ企画』の必要十分条件を考える「合志会社・にしき川流域地図創造舎（仮）」の立ち上げを呼び掛ける次第です。

